

祭事暦

3月1日・20日 午前8時30分

月次祭

3月21日 午後1時

末社御祖神社春季霊祭

午後2時

宮山役員改選奉告祭



発行所

寒川神社社務所

〒253-0195

神奈川県

高座郡寒川町宮山3916

電話 代表0467(75)0004

編集者 水谷智賢

責任者

印刷所 樹さんこうどう



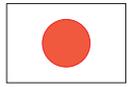
鎮守の森

昔、武道家に「大山倍達」という先生がいた。生涯を通じて空手道の真髄を極めるともに、何冊もの本を出版し我々に大切な言葉を残して戴いた。その中でも人生の理念とされた教えがある【頭は低く目は高く、口を慎んで心広く、孝を原点として他を益す】

「頭は低く目は高く」＝決して威張るな。常に謙虚であれ。その代わり目標は高い所に置き、物事を常に公平に見なさい。「口を慎んで心広く」＝他人の悪口や愚痴を言わない。悪いことは全部自分のせいに、善いことは人の手柄にしなさい。そういう寛大な心を持って「孝を原点として他を益す」＝親孝行が一番だよ。親に感謝しなさい。そして、稽古で培った精神と体力を以って社会や人の役に立ちなさい。【抑忍】と語られていた 我々は長い人生を歩む上で、逆境におかれたり悩み苦しんで立ち止まる時がある。そんな時に先人や師の教えによって魂が奮い起こされ、勇気を以って新たな一歩を踏み出すことが出来る。今大切なことは何か、物事の本質をよく見極め、心を正して進んで行けば、明るい未来暖かい春は必ずやって来る。(基)



遷宮で結ぶ人の輪心の輪  
第六十二回神宮式年遷宮



# 紀元祭齋行

併せて顕彰式行なわれる

皇紀二六七〇年、二月十一日午前十時より御本殿にて、我が国の建国を奉祝する紀元祭が斎行されました。

神武天皇が大和橿原の宮において御即位されてより、悠久二千六百七十年に亘り連綿と受け継がれて来ました皇室の益々の弥栄と、国家と国民の安泰繁栄を祈念する祭典です。

また、日頃より当社社に対し多大なるご尽力ご協力を頂きました方々の功績を称える顕彰奉告祭も併せて行なわれました。  
祭典終了後は、参集殿に於いて紀元祭奉祝式典と顕



彰式が開催されました。橿原神宮遙拝に続き、国歌「君が代」斉唱、次に奉祝歌「紀元節」を奉唱の後、各受賞者には宮司より功勞表彰状並びに感謝状、記念品が贈呈されました。  
今回受賞されました皆様には、衷心より御祝い申し上げますと共に、今後共変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。  
なお、本年度の受賞者は下記の方々です。(敬称略)

## 平成二十一年度寒川神社顕彰

### 功勞表彰受章者 (敬称略)

永年に亘り責任役員をはじめ幾多の役職を歴任し神社の維持運営に貢献された

金子 昭

永年に亘り顧問をはじめ役職を歴任し神社の維持運営に貢献された

山田 文夫

永年に亘り参拝を重ね御神徳の發揚、神社の隆盛に寄与された

大澤 訓子

崇敬者として多年に亘り赤誠を以て神社の数々の事業推進に貢献された

佐藤 哲也

(物故者)

永年に亘り参拝を重ね御神徳の發揚、神社の隆盛に寄与された

安川 實(ミツキ)安川  
(平成二十二年一月十八日逝去)

### 感謝状受章者 (敬称略)

氏子総代として多年に亘り寒川神社の運営に協力された

井上 清

多年に亘り元旦祈禱世話人として献身奉仕された

佐藤 幸夫  
今井 久男

寒川神社商工奉賛会の役員として多年に亘り献身奉仕された

齋藤 維男  
島村 繁  
吉川 精二

永年に亘り講員一同参拝を重ね御神徳の宣揚に尽瘁された

東京向島大山講  
羽塚 会  
船森龍神講

多年に亘り日毎の神社参道の清掃を献身奉仕された

藁品 利夫

御用業者として永年に亘り協力された

(株)高柳製茶

永年に亘り(株)青葉非常勤職員として当神社の維持運営に協力された

児玉 喜代子

永年に亘り(株)青葉囃子職員として当神社の維持運営に協力された

上田 典子

### 職員年功表彰受章者

寒川神社権禰宜 大藤 豊巳 勤統三十三年

寒川神社権禰宜 石黒 邦彦 勤統二十一年

寒川神社権禰宜 井上 浩之 勤統二十一年

寒川神社権禰宜 長倉 基博 勤統二十一年

寒川神社権禰宜 野村 尚広 勤統二十一年

寒川病院病院長 鳴海 裕之 勤統二十一年

寒川病院囃子職員 八野 良子 勤統二十一年

神恵苑事務長 渡邊マツ子 勤統十年

神恵苑理学療法士 筒井 亜樹 勤統十年



◆ ◆ 五穀豊穡を祈り 田打舞神事奉納

祈年祭齋行

今年の農作物の豊かな稔りを祈請する祈年祭が、二月十七日（水）午前十時より齋行されました。また祭典終了後には、御神前に供えられた籾種が、町内生産組合を通じ、各農家へと頒られました。

祈年祭は、古くは「どしどしごいのまつり」と言われ、本格的な春を迎え農作業が始まる前に、今年一年の豊かな稔りを祈願する祭典で、陰暦二月四日に行なわれておりました。

年とは五穀の中でも特に



稲の事を言い、祝詞の中でも「奥都御年」と奏されます。当日は、今季一番の寒気が関東地方を覆い、今にも雪が降りそうな空模様の中責任役員・総代・氏子崇敬者を始め、生産組合長参列のもと、海の幸・山の幸を本殿にお供えし、五穀豊穡・

国家安泰を祈願致しました。祭事の中程では、当社の特殊神事である「田打舞神事」が、社人・神職により奉納されました。

この神事は、黒尉と白尉の二人の翁により、「田作り」から「種蒔き」「苗ほめ」「田植え」「稲刈り」までの一年間の農作業の様子を謡や太鼓・笛の拍子に合わせて舞う神事舞で、舞の最後には、社人小菅隆志氏により、「大神のお守り」をこつむりて、今年も五穀豊年に幸へ給へと畏み畏みも申す」と祝詞が奏上され、豊年満作が祈念されました。



今月の祭事

◎安藤由勝夫人命他慰霊祭  
三月二十一日(日) 午前十時  
当神社の神主・社僧として明治の初め頃、神動された方々を、神式と仏式のそれぞれに基つき合同慰霊祭が、神社隣りの興全寺で行なわれます。

◎末社御祖神社春季霊祭  
三月二十一日(日) 午後一時  
宮山地区の家庭で、神式

による先祖祭祀をしている家々で組織された「御祖講」の春季霊祭と、新たな御靈を合わせまつる合祀祭が、議員多数参列のもと行なわれます。

◎宮山役員改選奉告祭  
三月二十一日(日) 午後二時  
新年度を迎えるに当り、宮山地区の神社総代を始め自治会長・町内会長・生産組合長などの各役員が参列し、新旧役員の交替を御神前にご奉告いたします。

月次祭参列のご案内

寒川神社では毎月一日に月次祭を執り行ない、国の隆昌と皆様方の弥栄をご祈念致しております。

この祭典へのご参列をご希望の方はお問い合わせの上、お申し込み下さいます。よつご案内申し上げます。

日時  
毎月一日

(一月一日は除く)

午前八時三十分より約四十分  
参列方法  
参列当日午前八時までに受付を済ませ、定刻までお待ち願います。

ご参列後、月次祭神札をお受け頂きご退出願います。

\*お問い合わせ

☎〇四六七五(〇〇四代)

# 節分祭

## 邪気災厄をはらう



寒さも少し和らぎ、くつきり晴れ渡った青空の下、二月三日午前十一時と午後二時の二回、節分祭が、賑やかに執り行なわれました。今年、節分祭には二百名を超える年男女の方々が祭典に参列されました。御本殿にてお祓いを受け玉串をお供えした後、追儼板を打ち鳴らし、「福は内」、「鬼は外」と声も高らかに



に豆撒きを行ない、邪気災厄を追い祓いました。次に、外庭に設置された橋上より約四千余名の福を頂こうと集まった大勢の参拝者の前で福豆撒きが行なわれました。本来「節分」とは、立春・立夏・立秋・立冬の前日で季節の変わり目を指す言葉でしたが、年の初めの立春は特に重要とされました。旧暦では立春を正月と考え、節分は大晦日にあたりますので、前年の邪気、災厄を祓う追儼行事が全国各地で行なわれております。



福豆を授かる子供達

に豆撒きを行ない、邪気災厄を追い祓いました。次に、外庭に設置された橋上より約四千余名の福を頂こうと集まった大勢の参拝者の前で福豆撒きが行なわれました。本来「節分」とは、立春・立夏・立秋・立冬の前日で季節の変わり目を指す言葉でしたが、年の初めの立春は特に重要とされました。旧暦では立春を正月と考え、節分は大晦日にあたりますので、前年の邪気、災厄を祓う追儼行事が全国各地で行なわれております。

## 節分祭

（敬称略）  
（順不同）

- |         |          |             |                      |
|---------|----------|-------------|----------------------|
| 横溝隆義    | (株)関東小池  | (株)並木工務店    | (有)F.L.プランニング        |
| 市川元久    | (株)北岡本店  | (株)モチロ企画    | 川本工業(株)豊央支店          |
| 大川静男    | 関東建物(株)  | イベント商組合     | (株)晃和ディスプレイ          |
| 関根 晃    | 北村工務店    | (株)金子建材土木   | 寒川神社商工奉賛会            |
| 金子 昭    | 熊澤酒造(株)  | 天婦羅割烹川乃     | (株)サンエーサンクス          |
| 皆川欽一    | (有)さがみや  | ギンビス商事(株)   | 寒川駅前クリニックス           |
| 大門      | 佐藤建具店    | (株)さんこうどう   | 東京あずまネクタイ            |
| (株)湊    | さとつ薬品    | (有)サダコ美容室   | 原田総合保険事務所            |
| 大黒屋     | (有)寒川建材  | 鈴木徽章工業(株)   | 松井建設(株)東京支店          |
| (株)青葉   | (株)サンユー  | (有)破魔矢奉製所   | 横浜銀行茅ヶ崎支店            |
| (株)秋江   | 鈴信運送(株)  | (株)長谷川製作所   | レンゴー(株)湘南工場          |
| (株)阿部   | そば処佐賀    | (有)古山看板塗装   | ロワジュールホテル厚木          |
| 平 成     |          |             | 戸田建設(株)寒川工作所         |
| 二十二年    |          |             | (株)竹中工務店横浜支店         |
| 福物協賛者芳名 |          |             | (株)ギンビス湘南営業所         |
| (株)市川   | (有)田中写真  | (有)ほりむら薬局   | 門前だんご茶屋九五郎庵          |
| 長嶋園     | 高橋竹材店    | 横浜貨物総合(株)   | 寒川ローンテナスクラブ          |
| 福岡園     | 中島鉄工所    | ヨシカワ洋品店     | 湘南ビューティカルチュア         |
| 豊月堂     | (有)丸井紙店  | エバラ食品工業(株)  | ジャパソールト(株)栃木支店       |
| 諸江屋     | 百崎製菓(株)  | (有)大島寅次郎商店  | (株)竹澤古典建築設計事務所       |
| 竹見商店    | (有)飯田材木店 | コムロデンキ寒川    | 海苔で健康推進委員会関東         |
| 露木生花    | (有)壁島工務店 | (株)さいか屋藤沢店  | さがみ農業協同組合寒川支店        |
| 戸塚米店    | (有)カネヤ商会 | 長嶋福だるま物産    | 敷島製パン(株)パスコ湘南工場      |
| 根岸農園    | (有)喜久屋酒店 | 横浜銀行寒川支店    | 東映無線(株)              |
| 原繁酒店    | さがみや菓舗   | (有)協和クリーニング | 東映通信工業(株)            |
| (有)依田屋  | 寒川町商工会   | 秋山商事(株)厚木支店 | キリンビバレッジ(株)湘南工場      |
| (株)オーカワ | (株)テック企画 | (株)イソダ瀬谷営業所 | ※御協賛誠に有難うござい<br>ました。 |

連載

# 遷宮講座



國學院大學  
神道文化学部教授  
神道学博士

なかにし まさゆき  
中西正幸

## 第十一回 遷宮上人

神宮祭主の職舎にあてられている神護山慶光院は、もと尼僧が住持して宗派は臨濟、本寺・末寺もなく独立していた。その尼僧が上人号と紫衣を許されて伊勢上人・内宮上人、とりわけ遷宮上人と讃えられたのは、百二十年も途絶えていた遷宮を再興するため、諸国に募財した功勞によっている。永祿六年（一五六三）の外宮



慶光院清順上人像  
古川武治作・神宮徴古館所蔵

延徳三年（一四九二）と永正二年（一五〇五）の両度、これを勧進・架橋した。三代の清順も天文十五年（一五四九）に架橋し、さらに遷宮の勧進を志して内宮方に諮ったが、勧進聖という性格上から許されず、やむなく外宮の許可をえて諸大名を勧進した。桶狭間や川中島の合戦など、戦乱の鎮まらぬ折から、正親町天皇の永祿六年（一五六三）九月、百三十年ぶりに外宮の正遷宮が再興されたのである。  
その先例にならって四代の周養も、まず正親町天皇の繪旨を賜わり、天正三年（一五七五）

遷宮をはじめ天正十三年（一五八五）・慶長十四年（一六〇九）・寛永六年（一六二九）・慶安二年（一六四五）の両宮遷宮にいたるまで、前後五度におよぶ壮挙であった。まず初代の守悦は、宇治橋が流れて参詣者が難渋する有様をみて、



慶光院（現祭主職舎）

に内宮の仮殿遷宮に着手した。織田信秀・信長父子の敬神ぶりから、祈禱大麻をいくたびも戦陣に届け、豊臣秀吉から多大の寄進を受けて同十三年（一五八五）十月、ようやく両宮遷宮が旧に復した。内宮では寛正三年（一四六二）遷宮が行なわれてより、実に百二十四年ぶりのことであり、正親町天皇も周養の多年にわたる功勞に対して、優渥な繪旨が下されたのである。

今度、両宮正遷宮のこと嚴重の段、いよいよ以って天下安全の至り、珍重に思食され候。併せて時に当り沙汰を申るの条、美目これに過ぐべからず候。猶ほ懇祈を抽んずべきの由、天氣の候所なり。仍って執達すること、件の如し。

天正十三年十二月六日

左中将（花押）

慶光院周養上人御坊

こうした功績により、豊臣秀吉は慶長二年（一五九七）頃、桃山時代の遺構を今に偲ばせる規模壮大な寺院を興隆した。徳川家康も篤く帰依して同八年（一六〇三）、朱印状をもって遷宮費三万石を寄進した。数年後に迫った同十四年（一六〇九）遷宮のためであり、遷宮遂行の功により、尼僧の身にして内院御拝を許された。寛永・慶安と遷宮募財を続けたが、しかし中世流の勧進聖の存在すら許さない、近世の時代となっていたのである。

# 神嶽山神苑

かんたけやましんえん

歳時記

## 春の開苑

神苑は、昨年の八月より受け入れを始め、秋の紅葉がずれ込んだため、少し延長して十二月六日(日)まで開苑しておりました。入苑は祈祷参拝者のみに限らせて頂いているにも拘わらず四ヶ月間で約一万二千人が来苑されました。

十二月七日以降は開苑期間に入り、寒い冬の訪れとともに正月を迎えました。茶屋「和楽亭」では床飾りとして結び柳を流しツバキ一輪を生け、三方に神楽鈴を供奉奉りました。

一月二日の追儺神事では苑内「難波の小池」の御神水が竹筒に汲まれ、御神前に供えられたのち境内各所に撒かれ御神域内の邪気が祓われました。御社頭は賑やかに初詣の参拝者を迎えている間、神苑では静かに冬の営みが施され、木々や鳥たちも暖かな春の訪れとともに皆様をお迎えする準備を進めております。



上池のミツマタ

開苑は四月一日からの予定です。今回師走の大祓参加の皆様には御神札に入苑券を同封させて頂きました。是非ご来苑下さい。



和楽亭の床飾り

## 入苑の御案内

◇開苑期間

四月一日～十一月三十日

月曜は休苑日(祝祭日は開苑)

◇開苑時間

午前九時～午後四時

(午後三時三十分受付終了)

◇茶屋(お抹茶・お菓子付有料)

午前九時三十分～午後三時三十分

(午後二時受付終了)



◆青少年活動だより



## 寒川神社少年館

親子ふれあいスケート教室

二月二十一日(日)相模原市淵野辺公園内銀河アリーナにて「親子ふれあいスケート教室」を開催、館生とそのご家族六十三名が参加致しました。

当日はオリンピックの影響もあり入場規制がかかるほどの混雑ぶり。そのような中でも、子供達はのびのびとリンクを滑走しておりました。スケート初体験で不安がっていた子は、ご父兄の協力もあり、転びながらも最後には一人で滑れるようになりました。

終了時には疲れた様子でしたが、楽しい体験を終え、各々が上達し、とても良い思い出となりました。



御本殿御造営竣工十周年記念事業

## 御本殿周辺整備事業奉賛者芳名

左記の方々より赤誠溢れるご奉賛を賜りました。誌上より厚く御礼申し上げます。

【平成二十二年二月奉賛者】(順不同・敬称略)

二万円 澁谷サチ子

岳中三孝

厚木市下荻野

東京都大田区

# 寒川病院だより

☎0467(75)6680 寒川町宮山193  
http://www.samukawabyouin.com (ホームページが新しくなりました。)



## 大上麻由里医師よりご挨拶



(宗)寒川神社 寒川病院  
耳鼻咽喉科医長  
おおがみ まゆり  
大上 麻由里

耳鼻科の大上です。お話ししたことがある方はもしかするとお気づきになつたかもしれませんが、私は福岡県の出身です。昭和六十一年に山口大学医学部を卒業し、その後山口大学医学部付属病院の関連病院を経て、平成十二年より寒川病院へ勤務しております。

その間、結婚し一人の(愛)娘に恵まれ、子育てに専念した時期もありましたが、夫の東海大学医学部付属病院への転勤を機に神奈川県へ引っ越し、夫の当時の教授の紹介にて寒川病院へ赴任することとなりました。現在は、寒川病院の耳鼻科医として働く一方、ひとたび家に帰れば母親の顔になる日々です。娘も中学二年生になりましたが、母親として心配もありつつ、今後の成長が楽しみなところです。子育ても趣味の一つであり、夫や娘と過ごす時間も大切に

にしています。

耳鼻科の専門は聴覚で、特に小児難聴・補聴器の分野です。最近耳が聞こえづらくなった、補聴器を試してみたい等ありましたら、耳鼻科外来へお越しください。

また、花粉症の季節にもなりましたが、鼻のつらい症状でお困りの方も、どうぞお越しください。外来は予約制を導入していますが、大変混み合う日もありますが、可能な限り予約時間通りに診療ができるよう、受付の者だけでなく私も気配りをしています。

今後とも、よろしくお願いたします。



### 診療日

	月	火	水	木	金	土
午前						
午後						

\* 印...大上医師担当外来  
印...耳鼻科外来(大上医師以外)  
お電話にてご確認の上、ご来院下さい。

## 人事

### ◆退職

△寒川病院△  
事務職員 斉藤 節子  
規則に依り定年退職とする  
平成二十二年二月二十八日  
△神恵苑△  
介護職員 今井 ツヤ

### ◆新採用

規則に依り定年退職とする  
平成二十二年二月二十八日  
△神恵苑△  
看護師 刈鎌かつ代  
神恵苑勤務を命ずる  
平成二十二年三月一日

## 医療講演会のご案内

とき 3月26日(金)  
午後2時~3時  
ところ 寒川神社 参集殿  
内容 「最近のC型肝炎の治療について」  
講師 病院長  
鳴海 裕之

入場無料 申込不要  
ご来場をお待ちしております。

0467-75-6680  
寒川病院

神前結婚式ご案内会

3月28日(日)

午前10時より午後5時迄

寒川神社参集殿

お問い合わせは  
0467-75-5555

冬川俳壇

春隣一匙ずつの離乳食  
 くり返す一人シユートや日脚伸ぶ  
 沖ばかり見ている漁師春近し  
 入るより出るに難儀や春炬燵  
 嫁ぐ娘の衣装合わせや春隣  
 春の雪寺の卍のひかりをり  
 飴切りの囃す調子や寒明くる  
 白波の猛りて返す西行忌  
 押せば出るポットのお湯や春炬燵  
 寒雀夕日手玉に遊びをり  
 江の電の曲り曲りて春近し  
 春近し竹ぼんぼんと割れる音  
 延びて来し架橋工事や冴返る  
 ささやかな今朝の喜び四温晴  
 散歩する犬もセーター着ておりぬ  
 干大根雨の一ト日につまづきぬ  
 ウオーキング足元軽く日脚伸ぶ  
 売声の路地から路地へ寒蜩  
 薬より早寝が効くや春の風邪  
 紅梅が散る参道の交差点  
 春愁の左手に触れし剃り残し  
 雪国の供花の造花をあはれとも  
 煮凝のうらめしそうな目玉かな



- 菅沼つめの 飛石 槿花 倉谷 節子 芹沢 徳光 金子 つぢ 四ツ車梢月 相原 白路 露木てる子 根岸 君子 宮入 つる 松本美智子 高橋はるよし 山本 朝子 竹村真砂美 三輪 恭子 千葉 静香 原野 楽天 伊藤 公一 菅沼 保幸 金指 月光 岡田風呂釜 市本 益子 岩田美代子

三月 手水舎奉掲

明治天皇御製

ゆるされてまなびの窓をいづる子よ  
思はぬ道にふみな迷ひそ

相模詠草

初日の出真赤に燃えて昇りくる今年も無事でと手を合せたる  
 元旦の凜と輝く満月に心洗われ自ず<sup>あろが</sup>拝む  
 紅葉の箱根連峰望みつつ初冬を歩む彫刻の森美術館  
 白百合の大輪五つ目今日開き千両纏いて言祝く新春  
 ほととぎす声する方に駒ヶ岳楓朱に燃え秋を惜める  
 稲刈られ広い田圃に<sup>たす</sup>付める役目終りし案山子の親子  
 家いへの車ピカピカ飾りつけておすまし大晦日の宵  
 押し詰まり明は新年富士山の吹雪の中にかくれておわす  
 寒川神社の参道を行く人力車拳式の花婿花嫁のせて  
 湧き水の清水の池の真鯉たち寒さも知らず跳ねて泳げり  
 来る年も明るく元気に居るように明るいピンクのシクラメン買う  
 新年に集う幸せ子や孫と話はつきず深夜の賑わい  
 みずずかるしなのに生れし孫みずずよきえにしあり嫁ぐときまる  
 古き考え捨てぬまま流行の服着るおみなよ木枯しの中  
 「ひいばあちゃんだいすき」にハートを書き添えて曾孫四歳よりのお手紙  
 新春の真白き富士に掌合わせ平穩無事を祈れる  
 大晦日密かに香る蠟梅はさやけき月の光の中に  
 天心に青き満月肅肅とゆく年今し行き交ふ



- 講師 土屋トミ子 山口 幸子 山根喜美代 安藤 慧 鈴木 助晴 川島恵美子 吉田マツ子 工藤 光子 稲畠 治江 三留とく子 天利 春枝 岡元 芳子 出町 安子 齋藤くにお 宇田川時子 浜田 寿子 亀山 文子 杉本 照世

表紙写真説明

御本殿と河津桜

編年手帳記

いよいよ桜の季節。桜はその特性ゆえに、日本人が

最も好む花の一つ。その咲く姿は、富士山のように高く美しい。今年の花見が待ち遠しい。